

パブリック・コミュニケーション高度化支援業務委託に関する質問に対する回答

4月30日現在

No.	質問日	項目	質問の内容	回答
1	4月22日	公募要領	<p>・公募要領3ページ5「応募手続き」の(2)「参加申込書の提出」について、(エ)の「国税納税証明書(その3の3)(税務署で交付される様式)」につきましては、e-Tax等で電子発行されたPDFデータ(電子公印が押印されており、「電子発行」と記載があるもの)でのご提出でよろしかったでしょうか。</p>	<p>・お見込みのとおりです。電子発行されたPDFデータを印刷の上、提出してください。</p>
2	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の1ページの1。本施策により、県民や事業者等の理解・共感を得る基盤を構築することで、具体的にどのような成果の創出を想定されていますか。想定されている具体的なゴールがあればご教示ください。(例：定住率向上、移住者増加、シビックプライドの創出、県政施策への参画意欲の向上など)</p>	<p>・令和8年度における本業務の到達目標については、仕様書別表にKPIとして記載した内容の達成を想定しています。</p> <p>なお、本業務の主眼は、県の施策・事業について、県民や事業者等のステークホルダーの理解・共感・行動変容を得ながら、県政を効果的に運営していくことにあります。</p> <p>そのため、外部の専門家の知見を活用し、県職員が、施策の企画・立案・執行の各段階において、ステークホルダーとのコミュニケーションを戦略的に設計し、実行できる能力を高めることを事業全体の目的としています。</p>

No.	質問日	項目	質問の内容	回答
3	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の1ページの1。貴庁が対象となる関係者に情報発信を行う際、企画～発信までの具体的なフローをご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>本県が対象となる関係者に情報発信を行う際の企画から発信までの基本的なフローは、以下のとおりです。</p> <p><企画段階> 各原課が中心となり、予算編成時等に事業目的や発信の方向性について整理します。</p> <p><具体的な実施計画の策定> 各原課と広聴広報グループが連携して、具体的な情報発信手法やスケジュール等を検討します。</p> <p>この段階において、必要に応じて外部コンサルタント等の助言を得る場合があります。</p> <p><実施段階> 各原課と広聴広報グループが役割分担のもと、情報発信を実施します。</p> <p>なお、広聴広報グループは、主に以下の観点から助言・支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信手法に漏れや偏りがないかの確認 ・プレスリリース等の発信資料に関する助言 ・効果的な発信先や媒体選定に関する助言 <p>また、具体的な実施計画の検討過程において新たな広報手法が必要と判断され、かつ原課において当該手法の予算計上がない場合には、内容に応じて広聴広報グループの予算を活用する場合があります。</p>
4	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の1ページの1。庁内各所属・各部局が実施する個別施策および全庁的な重要施策に係るステークホルダーについて、想定されているステークホルダーの具体例をご教示ください。例としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> - 県民（若年層、子育て世帯、ケアラー、移住・定住検討者等） - 県内事業者・雇用主（中小企業、産業団体、スタートアップ等） - 市町村、関係団体（市町村行政、教育機関、医療・福祉関係機関、NPO等） <p>などを想定して差し支えないか、併せてご教示ください。</p>	<p>・具体例については、お見込みのとおりです。なお、ステークホルダーの構成は一定ではなく、政策の内容に応じ、関係するステークホルダーが異なる点にご留意ください。</p>

No.	質問日	項目	質問の内容	回答
5	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の1ページの1。「事業の目的」の※に記載いただいております重要施策とは、仕様書の2ページのIIに記載の戦略的最重要案件に関連した県政施策のことを指す認識でよろしいでしょうか。すでに実施する重要施策が予定されておりましたらご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>・お見込みのとおりです。戦略的最重要案件と同義です。</p> <p>今年度の戦略的最重要案件として、現時点で次の3つを想定していますが、今後追加となる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃金水準の持続的引き上げ ・水素実装先導県 ・富士トラムを基幹とした2次交通高度化・緑化100年構想
6	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の1ページの3(1)。職層別の研修について、昨年度と同様の対象者および対象者数に向けて研修を実施する想定で問題ございませんでしょうか。</p>	<p>本業務は、県職員アンケートの結果等を踏まえ、「県職員の意識」に関するKPIの達成に資する効果的な手法について、民間事業者の専門的知見やノウハウを活用した企画提案を求めるものです。</p> <p>このため、職層別研修の対象者や対象者数について、昨年度と同一とすることを前提としたものではありません。</p> <p>応募事業者におかれましては、県職員アンケートの結果分析を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの職層にどのようなアプローチが有効か ・意識変容を促すために望ましい研修対象、内容、手法、規模 ・従来手法の改善や新たな取組の可能性等について、自由度の高い発想による具体的な提案を行ってください。
7	4月27日	仕様書	<p>・仕様書1ページの3。(KPI)</p> <p>本事業におけるKPIは、</p> <p>①受託者(外部専門家)が行う研修・助言・支援の成果を、</p> <p>②それを受けた貴庁職員様の意識変化や行動変容、ならびに県民・事業者等への影響として測定する指標、という位置づけとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>・①については、お見込みのとおりです。</p> <p>・②については、位置づけの認識はお見込みのとおりです。本事業におけるKPIは、受託者が実施する研修、助言、支援等の成果が、県職員の意識や行動にどのような変化をもたらしたかを測定するための指標として設定しているものです。</p> <p>従って、本指標の測定対象は、研修受講者のみに限定するものではなく、研修や助言等を通じて得られた知見や考え方が庁内に波及することを前提に、県職員全体を対象として測定するものです。</p>

No.	質問日	項目	質問の内容	回答
8	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の2ページのIIに記載の戦略的最重要案件は今後変更の可能性があるとのことですが、その変更に伴いKPIも変更となる可能性はありますでしょうか。その場合、今回の企画提案では、従前のKPIを踏襲する形で差し支えないかご教示ください。</p>	<p>・お見込みのとおりです。戦略的最重要案件の変更に伴いKPIも変更となる可能性があります。なお、今回の企画提案では、従前のKPIを踏襲する形で差し支えありません。</p>
9	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の2ページのII(3)。県民アンケートは6月頃に調査実施とのことですが、その結果を踏まえて職員向け研修や活動支援を行う、という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>職員向け研修については、取組のベースとなることから、早期に実施することが望ましいと考えており、昨年度の県職員意識調査の結果等を踏まえて実施することを想定しています。</p> <p>一方、活動支援についてはお見込みのとおりです。</p>
10	4月27日	仕様書	<p>・仕様書の3ページのIII。ステークホルダーとのコミュニケーション支援については、どのようなステークホルダーとコミュニケーションを行うべきかのコンサルテーションを行うことを想定されているのか、または、弊社が関係を有するメディアやステークホルダーに対し、弊社から直接アプローチを行うことを想定されているのか、いずれを想定されているかご教示ください。</p>	<p>・ご質問のいずれの場合も想定しています。</p>
11	4月27日	仕様書	<p>・(別表)アンケート結果について、「人口減少に危機感を抱く県民・事業者の割合」については、割合が高いほど、貴庁として情報発信の効果が出ているとの評価になる、という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>・本指標については、割合が高いほど直ちに情報発信の効果が高いと評価するとの認識はしておりません。</p> <p>人口減少がもたらす将来像に関して、県民・事業者とどの程度問題意識や危機意識が共有されているかを把握するための指標と位置付けています。</p> <p>県としては、人口減少を他人事ではなく自分事として捉えていただくことで、意識や行動の変化につなげていくことを重視しており、本指標はその状況を把握するための一つの物差しとして活用するものです。</p>

No.	質問日	項目	質問の内容	回答
12	4月27日	仕様書	<ul style="list-style-type: none"> ・（別表）「新事業・チャレンジ」について、今年度以降に新たに実装を予定されている取り組みがあればご教示ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県では令和6年度から、山梨＝「先進的」・「挑戦を支援」といったブランドイメージを訴求する事業を展開しており、令和8年度も引き続き以下の事業を中心に展開していく予定です。 ・TRY!YAMANASHI!実証実験・社会実装サポート事業（スタートアップ等の実証・実装） ・新事業共創プラットフォーム「TRY!YAMANASHI!」（挑戦者創出の場の提供） ・やまなしインパクトチャレンジ（社会起業家育成プログラム等）等
13	4月27日	参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料「山梨県コミュニケーション戦略」について、こちらは本公示の「パブリック・コミュニケーション高度化」における基盤となる山梨県コミュニケーション戦略を策定した際の資料という認識でお間違いないでしょうか。差し支えなければ、本参考資料作成時の目的をご教示いただけますと幸いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認識については、お見込みのとおりです。 ・作成時の目的は、「山梨県コミュニケーション戦略」の「背景と目的（現状課題認識）」に記載のとおりです。
14	4月27日	参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料「山梨県コミュニケーション戦略」にて、ステークホルダー・コミュニケーションが適切に行われなかった事例について記載いただいておりますが、直近年度において、特にステークホルダーとのコミュニケーションに課題を感じた例がございましたら、ご教示をいただけますと幸いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとのコミュニケーションに関する具体的な事例については、関係者や相手方との信頼関係に配慮する必要があることから、個別の案件や直近年度の具体例についての回答は差し控えさせていただきます。
15	4月27日	参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料「パブリック・コミュニケーション高度化推進体制」について。本事業において弊社が参画する場合の立ち位置は、「外部専門家」との認識でよろしいでしょうか。 併せて、CCOの役割およびご経歴（専門分野等）について、差し支えない範囲でご教示ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部専門家については、お見込みのとおりです。 ・CCOは全庁のパブリック・コミュニケーションに関する実行及び結果についての責任者として位置づけており、高度政策推進局広聴広報監をもって充てています。定期人事異動により、年度ごとに経歴が異なる者がCCOとなる場合があります。 令和8年度のCCOは、財政分野を長く歴任しています。

No.	質問日	項目	質問の内容	回答
16	4月27日	参考資料	<p>・参考資料「パブリック・コミュニケーション高度化推進体制」について。県庁内にはさまざまな部局・機能があるかと存じますが、連絡調整会議には、どの部局（ご担当課・関係課）が参加されている想定でしょうか。また、仕様書の2ページのIIに記載の「戦略的最重要案件」（人口減少危機対策、ケアラー支援、富士トラム等）について、それぞれ、主に担当されている主幹部局/関係部局があればご教示ください。</p>	<p>・令和7年度の各連絡調整会議における関係部局は次のとおりです。 なお、今年度については、案件変更の可能性があるため、現時点では具体的な部局名をお知らせすることができません。</p> <p>【令和7年度の各連絡調整会議関係部局】</p> <p>○人口減少危機対策 ・人口減少危機対策本部事務局、総合県民支援局、産業政策部、県土整備部</p> <p>○ケアラー支援 ・総合県民支援局、福祉保健部、産業政策部、教育委員会事務局</p> <p>○富士トラム ・新価値・地域創造推進局</p> <p>○自然首都圏創出のための基盤整備 ・新価値・地域創造推進局、森林環境部、産業政策部、観光文化・スポーツ部、企業局</p> <p>○共生社会化の推進 ・総合県民支援局、新価値・地域創造推進局、福祉保健部、農政部、教育委員会事務局</p> <p>○新事業・チャレンジの推進 ・新価値・地域創造推進局、防災局、産業政策部、観光文化・スポーツ部、農政部</p>
17	4月27日	その他	<p>・その他。昨年同施策を実施した際の課題感、および実施しておくべきだったとお考えの事項があれば、ご教示をいただけますと幸いです。</p>	<p>・仕様書3ページに記載のとおり、県における広報手法がプレスリリースやSNSといった手法に硬直化している懸念があり、KPI達成には、従来の枠組みにとられない手法が必要と考えています。県からの助言依頼に対する応答的な助言にとどまらず、KPIの達成に向けて必要となるコミュニケーション施策を積極的に提案していただく支援手法を期待しています。</p>